

# 下田グローバル CITY プロジェクト (案)



## 1. プロジェクトの目的

下田市は、幕末開港の歴史を活かし、幅広い分野・幅広いレベルでの国際交流をつないできたまちであり、他のどの地域にもないこの「国際交流」の歴史は、世界に誇るべき「まちの財産」である。今後も下田市は、こうした地域であることを誇りとし、「国際交流」のトップランナーとして、教育や社会に活用していく国際交流の先進都市であることが求められている。

今、社会は、新型コロナウイルス感染症という地球規模での未曾有の危機にさらされている。人と人の接触が制限され、対面での交流がままならない状況である反面、情報通信技術の発展に伴い、どこにいても世界とつながることが容易となったことで、あらゆる分野で地球規模での活動や交流が進んでおり、社会環境は大きな変化を見せている。この国際化社会の流れは、今後益々広がりを見せることが予想され、本市が国際交流の先進都市として、真の国際交流を実現していくためには、この社会環境の変化に対応する新たな第一歩を踏み出す必要がある。

また、人口減少や少子高齢化、地球規模での環境問題等、様々な課題を抱える現代社会においては、様々な技術の発展とともに日々変化する社会の流れを捉え、他にはない地域の特性を活かし、世界に向けてその魅力を発信するとともに、多様な文化を受け入れる土壌が必要であり、そのためには「一流の国際人は一流の文化人」という言葉に象徴されるように、国境を超えた地球規模の幅広い視野と、我が国、わが故郷の歴史や文化の理解を併せ持った「グローバル」な人材（人財）の育成と協働が不可欠である。

市制施行 50 周年を契機に、第 5 次下田市総合計画のまちの将来像である、「時代の流れを力に つながる下田 新しい未来」の実現に向けて、地域（ローカル）の視点と、地域への誇りと愛着を持ち、世界（グローバル）を相手に活躍できる人材（人財）の育成と、下田で育った人材との多様な関わりを持ち続けることにより、人・モノ・地域といった横のつながりとともに、過去から未来への縦のつながりをつくり、世界に通じる魅力的で持続可能な新しい未来の下田の創出に向けて、「下田グローバル CITY プロジェクト」を発動する。

## 2. プロジェクトの骨子

「下田グローバル CITY プロジェクト」では、小中高の連携強化により、生徒間・教職員間交流の促進、一貫的な教育プログラムの検討・実施、国際化社会で活躍するための外国語教育と国際文化教育を推進し、国際化と多様化が進む社会において、柔軟な発想と強い意志をもって活躍できる人材を育成する教育環境の実現を目指す「教育振興事業」と、国際交流を通じ、国際的な視野と異文化への理解を養う環境をつくるとともに、地域を知り、地域について学び、他にはない地域の特色を活かした魅力的なまちづくりを実践する「グローバル推進事業」の2つの事業を柱として、国際人材・地域貢献人材の養成とU I J ターン人材の確保に努めるとともに、市民（市内在住外国人を含む）・学生・姉妹都市・大学・民間事業者といった多様な主体の参画による持続可能なまちづくりを推進する。

### 3. 主要事業の概要

#### 1) 教育振興事業

小中高の連携強化により、各年代での教育プログラムや教育課題の共有、共同研究・共同研修の実施、部活動を通じたスポーツ交流など、生徒間・教職員間の交流を促進するとともに、コミュニケーションツールとしての外国語教育の強化に加え、宗教・食事・生活習慣といった異文化への理解と気付きを促す国際文化教育を推進する。

校内での教育に加え、「グローバル推進事業」との連携により、国内外の学生との交流や、黒船祭等の国際交流行事を実践的な国際交流の場として活用し、国際的（グローバル）な素養を育むとともに、地域の方々の仕事や経験を学び、自らも地域に関わりながら地域の課題に触れることで、地域（ローカル）の視点と、地域への誇りと愛着を育むことができる下田の特性を生かした魅力的な地域教育を実施する。

また、それぞれの生徒が学んだことを発表できる場を作り、自らの考えを自らの言葉で発信できる生徒を育てるとともに、その学びの成果を地域に活かすことで、生徒自らが学びの必要性に気付き、自らの意思で新たな学びを探求する意欲的な学習意識の向上を図り、これからの国際化社会の舞台で活躍できるグローバルな人材（人財）を育成する。

#### <主な取組>

##### ①小中高連携の推進

###### ア. 未来の下田創造プロジェクトの開催

人口減少や少子高齢化、地球規模での環境問題、様々な技術の発展等により、多様化が進み、急激な変化を続ける現代社会において、柔軟な発想と強い意志を持って活躍できる生徒を育成するために必要な今後の教育の在り方と、下田における魅力的な教育環境の実現に向けた検討を行う。

###### イ. 生徒間の交流の促進

総合学習や総合探求の成果の共有等により、それぞれの年代での視点（気付き・考え方等）に触れるとともに、部活動を通じた交流により、中学生はよりレベルの高い環境に触れ、高校生は指導することで自らが培ってきた技能を省みる機会とし、互いのレベルアップを図る。

## ウ. 職員間の交流の促進

小中高の教育課程において求められる心身の成長を促し、これからの社会を切り拓いていくことのできる力を育てるため、職員間の連携を強化し、各年代での教育の目的や取組、科目別の理解度といった教育課題も共有し、より効果的で一貫した教育の提供を図る。

## **②外国語教育、国際教育の推進**

### ア. 外国語教育の強化

小中高の連携により、各年代において求められる習熟度といった情報を共有するとともに、一貫的な教育プログラムの実施により、早くから外国語に触れる機会をつくり、外国語に対する苦手意識の克服や、これからの国際化社会における外国語習得の必要性の認識を高めるなど、段階的な語学力の強化に取り組む。

### イ. 国際文化学習の実施

言語としての外国語の習得だけでなく、宗教・食事・生活慣習といった文化を学ぶことで、単なる意思疎通ができるだけでなく、互いの価値観や倫理観等を理解し、多様性を認めたとうえで、自らの考えを自らの言葉で伝えられる国際的な素養を持った児童・生徒の育成に取り組む。

### ウ. 大学と連携した外国語教育の充実

玉川大学との連携や賀茂キャンパスといった大学との連携・交流の場を活用し、大学生からの外国語学習指導や高等教育機関での研究等について情報を得ることで、語学力の強化と進学に向けた更なる学びへの意欲の向上を図る。

## 2) グローカル推進事業

情報化社会の進展により、あらゆる分野で世界規模での活動や交流が進んでおり、世界基準での課題やニーズを把握し、言語や文化の違いを受け入れる国際的な土壌をつくり、下田が持つ多くの魅力を世界に向けて発信していくことで産業の振興を図るとともに、世界を知ることによって改めて見えてくる新たな魅力の活用や課題の解決に取り組むことが求められる。

黒船祭をはじめとする国際交流に加え、国内外の学生とのオンライン交流、文化体験や市内在住外国人との交流イベントの開催、学生や市民等が幅広く利用できる国際交流サロンの創設等により、言語や文化の理解を深め、日常的な国際交流が実施できる環境をつくるとともに、学生や住民の地域学習を推進し、地域への理解と、誇りや愛着を深め、行政だけでなく、住民が我が事としてまちづくりの実践に取り組んでいく仕組みを構築し、地域の魅力を活かした持続可能なまちをつくる。

### <主な取組>

#### ① 国際交流の推進

##### ア. 国際交流事業

黒船祭やニューポート市との姉妹都市交流について、学生や市民の参加を促進し、言語や文化の相互理解を深めるとともに、インターネットの活用等による個人間での自主的な交流が行われる下地を作り、日常的な国際交流の実現を図る。

##### イ. 国際交流イベントの開催

国際交流の推進に向けた講演会や研修会の実施、市内在住外国人との食や文化の紹介・体験を通じた交流等により、外国の文化に触れる機会や、互いの国の生活習慣等についての理解を深め、グローバルな視野を養うためのイベントを開催する。

##### ウ. 国際交流サロンの創設

学生、市民（市内在住外国人を含む）、下田市への来訪者など幅広い人が気軽に利用でき、多方面からの情報や知識を共有できる交流と人材育成の場としての活用を図るため、経験や活動を伝える講座、まちづくりに関するワークショップの開催など、様々な利用ができる交流サロンを整備する。

## 工. 国内外の学生交流

語学力の強化とともに国際的な感性を養うため、タウンゼントハリス高校やキニック高校との関係を生かし、黒船祭やオンライン交流を通じて同年代の生徒同士の交流の場を作り、互いの生活や文化について学び、話す機会を創出する。

## **②地域学習の推進と人材の育成**

### ア. 地域学習の推進

まちの歴史や文化、自然環境、仕事といった下田のまちを構成する要素について、体験プログラムを通じた児童・生徒の学びの機会をつくるとともに、下田の特性を世界に通用する魅力として活かしていくため、住民の地域学習、地域研究講座を開催する。

### イ. 学生の社会参加の促進

総合学習や総合探究を通じて、地域の方々の仕事や経験を学ぶ場をつくり、学生自らが地域に関わりながら、地域の課題について考え、解決案を検討・提示することができる環境を提供する。

## **③まちづくり実践活動の推進**

### ア. まちづくりワークショップの実施

グローバルな素養を持つ人材の育成と併せ、それぞれの人材が持つ知見を活かして、下田の持つ魅力を世界に通用するものとして磨き上げ、世界の人々を受け入れるグローバルな社会の構築に必要な取組を検討するため、多様な人材が参画するまちづくりワークショップを実施する。

### イ. まちづくりシンポジウムの開催

ノマドワーカーの招致や副業人材の活用といった幅広い人材の参画と関係人口の創出を促すとともに、下田市が取り組むまちづくりの実現・推進に向けて、新たな視点からまちの活性化を検討するため、まちづくりシンポジウムを開催する。

#### ウ. 持続可能なまちづくりの実践

外国人生活相談や日本語教室といった生活支援、インバウンド観光の推進に向けた多言語表記、観光関連事業者や飲食店等への外国人対応セミナーの開催等により、国際性のある居住・交流環境を整備するとともに、各種計画策定への学生やグローバル人材の参画促進により、新たな発想や価値の創出に取り組み、国籍・性別・文化・慣習等の違いにとらわれない、魅力的で持続可能な教育環境と地域を有したまちづくりを実践する。

事業名		主な取組
教育振興事業	① 小中高連携事業	ア. 未来の下田創造プロジェクトの開催
		イ. 生徒間の交流の促進
		ウ. 職員間の交流の促進
	② 外国語教育、国際教育推進事業	ア. 外国語教育の強化
		イ. 国際文化学習の実施
		ウ. 大学と連携した外国語教育の充実
グローバル推進事業	③ 国際交流活性化事業	ア. 国際交流の促進
		イ. 国際交流イベントの開催
		ウ. 国際交流サロンの創設
		エ. 国内外の学生交流
	④ 地域学習推進事業	ア. 地域学習の推進
		イ. 学生の社会参加の促進
	⑤ まちづくり活動推進事業	ア. まちづくりワークショップの実施
		イ. まちづくりシンポジウムの開催
		ウ. 持続的なまちづくりの実践

取組内容	担当課
小中高教員の連携による魅力的な教育環境の検討	学校教育課
部活動交流、高校生による学習指導、等	学校教育課
教育課題の共有、科目別教育プログラムの検討、等	学校教育課
段階的な語学力の強化、外国語に触れる機会の創出、等	学校教育課
異文化への理解促進、国際的な素養を持った児童・生徒の育成	学校教育課
大学生による語学学習、高等教育機関の情報提供	学校教育課
黒船祭の開催、姉妹都市交流の促進、日常的な交流機会の創出	企画課、観光交流課
講演会、研修会の実施、文化体験イベントの開催、等	企画課
多様な人が利用可能な交流サロンの創設	企画課
同年代の児童・生徒交流による国際的な感性を育む	企画課、学校教育課
地域で学び、体験する機会の創出	企画課、学校教育課、生涯学習課 各事業担当課
地域課題研究、解決案の検討、まちづくりへの参画	企画課、各事業担当課
まちづくりワークショップの実施	企画課
まちづくりシンポジウムの開催	企画課
生活環境改善、外国人支援、新たなまちづくり施策の検討・実施	企画課、各事業担当課